

第29回 宮城県新型コロナウイルス感染症対策本部会議
第26回 宮城県危機管理対策本部会議
議事録

日時：令和3年7月16日（金）午後4時30分から

場所：行政庁舎4階 特別会議室

（危機管理監）

ただいまから第29回宮城県新型コロナウイルス感染症対策本部会議及び第26回宮城県危機管理対策本部会議を開催します。

本日は、本部長である知事が出張中であるため、本部長はWeb会議により出席します。

開会に当たり本部長から一言御発言をお願いいたします。

（本部長：知事）

皆さんおばんでございます。

ここにきて、急に感染者が増えてまいりました。3月に感染者が急激に増えたのと同じような状況になってきたわけであります。当時と比べますと、高齢者の割合が感染者に占める割合が非常に少ない、また、重症者が少ないという特徴がありますが、若い人たち、特に40代50代の人たちが急激に感染が広がっておりまして、このままいきますと、デルタ株でありますので、若い人たちの重症化、重症者が急激に増える可能性もあると考えました。3月の時点では新規感染者が1日3桁、100人を超えた段階で対策本部会議を開催いたしました。その結果対策が遅れ、新規感染者が1日200人に至ってしまったわけでありませ

す。そこで今回は、この教訓、またビックデータなど生かしまして、早めに対策を打つことにいたしました。

そこで、急遽本日お集まりいただいたということでありませす。医療関係者の皆様には、お忙しい中誠に御参加ありがとうございます。

本来でしたら、私がそちらに行きまして指揮をとらなければなりませませんが、時間がないということもありますので、今回、東京からオンラインで参加をすることにいたしました。従いまして、今回そちらの議事進行につきましては、佐野副知事に任せたいというふうに思っています。

今日は限られた時間でございますけれども、忌憚のない御意見を賜りたいと思ひます。どうかよろしくお願ひ申し上げます。以上です。

（副本部長：佐野副知事）

それでは早速入ります。「1 新型コロナウイルス感染症患者の発生状況等について」保

健福祉部から説明をお願いします。

(保健福祉部長)

< 資料1について説明 >

(副本部長：佐野副知事)

ただいまの説明について、何か御意見、御質問等がございますか。

それでは、次に「2 リバウンド防止に向けた県の取組状況等について」の「(1) 感染再拡大の早期探知について」の「① 人流等の動向について」企画部から説明をお願いします。

(企画部長)

< 資料2-1①について説明 >

(副本部長：佐野副知事)

ただいまの説明について、御意見、御質問等ございましたらお願いします。

それでは次に「② 感染再拡大に備えた検査体制の充実について」保健福祉部から説明をお願いします。

(保健福祉部長)

< 資料2-1②について説明 >

(副本部長：佐野副知事)

ただいまの説明について御意見、御質問等ございましたらお願いします。

次に「③ 早期探知のための指標について」保健福祉部から説明をお願いします。

(保健福祉部長)

< 資料2-1③について説明 >

(副本部長：佐野副知事)

ただいまの説明について御意見、御質問等がありましたらお願いいたします。

それでは次に「(2) みやぎ飲食店コロナ対策認証制度の運用状況について」環境生活部から説明をお願いします。

(環境生活部長)

< 資料2-2について説明 >

(副本部長：佐野副知事)

ただいまの説明について何か御質問、御意見がありましたらお願いいたします。

それでは次に「(3) ワクチン接種の加速化について」保健福祉部から説明をお願いいたします。

(保健福祉部長)

< 資料2-3について説明 >

(副本部長：佐野副知事)

ただいまの説明について御意見、御質問等がありましたらお願いいたします。

(宮城県感染症対策委員会：賀来委員長)

よろしいですか。

(副本部長：佐野副知事)

はいどうぞ。

(宮城県感染症対策委員会：賀来委員長)

賀来です。ありがとうございました。

高齢者については、1回接種が77.7%、約8割、2回接種が52%を超えてきているということで、高齢の方に対して感染の重症化予防効果が見られると思います。65歳以下の方々に対してのワクチン接種の戦略といたしますか、今後の見通しはいかがでしょうか。

(副本部長：佐野副知事)

保健福祉部長。

(保健福祉部長)

今、市町村では、鋭意接種計画を作って実施しております。

国のワクチンの供給のペースの関係でいろいろ具体的に心配されてるところがあるんですけども、現在までのところ各市町村では国が示しております10月末あるいは11月末までの完了に向けて鋭意努力しているところであります。

今後、ワクチンの供給量に対して具体的にどのようなペースで接種するかということをお県としてもきめ細かく状況を聴いてまいりますので、それを踏まえながら、どの時点で終了するのかということについて常に把握して、必要なアドバイス助言をしてまいりたいと思います。

(宮城県感染症対策委員会：賀来委員長)

ありがとうございます。

(副本部長：佐野副知事)

よろしいでしょうか。

他に御意見，御質問等ございませんでしょうか。

それでは，次に「3 感染拡大抑制のための追加対策等について」復興・危機管理部から説明をお願いします。

(復興・危機管理部長)

< 資料3について説明 >

(副本部長：佐野副知事)

ただいまの説明について御意見，御質問等がありましたらお願いいたします。

(宮城県感染症対策委員会：賀来委員長)

よろしいですか。

(副本部長：佐野副知事)

はいどうぞ。

(宮城県感染症対策委員会：賀来委員長)

ありがとうございました。

8月16日という期間設定なんですけれども，現在東京都を含めた首都圏，特に東京での緊急事態宣言が8月22日という設定になっています。これは首都圏はかなり感染が拡大して，他の3県も緊急事態宣言をある程度宣言する要請に入っています。首都圏の期間設定を考慮に入れますと，やはり宮城県においても長めの措置をしっかりととって，状態を見ながら，段階的に解除していくというやり方がいいと思います。その判断基準はいかがですか。

(復興・危機管理部長)

期間の取り方は様々な考え方があろうかと思えます。先生がおっしゃるとおり東京の期間と合わせる意見もございますし，様々な形ですが，今回21日から措置を実施して，それから効果が現れるのは，やはり2週間後くらいとっておりますので，その2週間後からの感染者数の推移を見ながら，それからお盆等の大きな人流のおそれがあるところも含めたところで1度期間を切って，そこで状況を見て，それでその後の対応も併せて考えたいと思えます。

(宮城県感染症対策委員会：賀来委員長)

そうしましたら状況を見ながら、それぞれの感染状況を見ながら、フレキシブルに、ある程度柔軟に、延長も含めた対応を考えていくというお考えでよろしいですか。

(復興・危機管理部長)

はい。もちろん、ここで切ったというよりは、その期間、感染状況等をきちっと見るということ考えております。

(本部長：知事)

賀来先生貴重な御意見ありがとうございました。

この期間につきましては県庁内におきましてもいろいろ議論が分かれました。

早いほうがいいという幹部は、七夕の時期を見て、8月の頭の七夕が終わったくらいでいいんじゃないかという意見もありました。また、先生のおっしゃるように、東京と同じように8月22日あるいは8月いっぱいにした方がいいのではないかという意見もありました。

そこでいろいろ議論をいたしましたけれども、結果的にはお盆の終わりということにいたしました。理由は、復興・危機管理部長がお話したとおりであります。

ただ私といたしましては非常に危機感を持っておりまして、この期間につきましてはこの期間で必ず終わるということではなく、もし患者が高止まりであれば、ためらうことなく延長することがあり得るというふうに思っておりますので、どうか御理解を賜ればというふうに思います。以上です。

(宮城県感染症対策委員会：賀来委員長)

はい、わかりました。

(副本部長：佐野副知事)

他に御意見、御質問等ございませんか。

それでは続いて協力金について、経済商工観光部から説明してください。

(経済商工観光部長)

< 資料4について説明 >

(副本部長：佐野副知事)

ただいまの説明について、御意見、御質問等がございましたらお願いします。

(本部長：知事)

ちょっと聞き漏らしたのかもしれないんですけども、この期間、7月21日から8月16日に認証店として今手を挙げていて、まだ認証されていないお店ありますよね。そのお店

は、どのようになるのかというのは先ほど説明ありましたか。

それを説明してもらおうと助かりますけれども。

(副本部長：佐野副知事)

はい。それでは経済商工観光部長お願いします。

(経済商工観光部長)

現在認証申請中の店舗につきましては、認証が下りた時点から先ほどの復興・危機管理部から説明のありました例外の対象になるということで考えております。

従いまして、認証が下りるまではしっかり営業時間短縮要請に協力をしてもらおうと。それ以降の部分につきましては、事業者の判断で営業時間短縮要請に協力するか、あるいは営業を行うかという、そういった選択になります。

(本部長：知事)

認証したいということで手を上げていて、認証されていないお店については、大変御迷惑をおかけいたしますけれども、御協力よろしく願いいたします。

それから、例えば、明日から認証したいって手を上げたところはどうなるんですか。それについて説明してください。

(経済商工観光部長)

これからその申請を行う事業者につきましても同じ扱いということになりますので、その認証が下りた時点で区分するというように考えております。

(副本部長：佐野副知事)

ただですね、認証には一定期間、これは掛かります。現地も確認した上でということになりますので、申請したから、すぐ認証できるというわけがないことは、これから申請していただく事業者の方々には御理解いただければならないです。

(本部長：知事)

マスコミの皆さん今日そちらに取材されていると思いますけれども、これかなり混乱するかもしれませんので、しっかりと報道の方お願いを申し上げます。

それから今日仙台市の局長さんお越したと思います。今まで協力金についてはですね、財源は県の方で持っていますけれども、手続は仙台市の方でいろいろやっていただいております。大変協力的にやっていただいているおかげで、非常に支給がスムーズだとぜひ高い評価をいただいております。本当にありがとうございます。

今回、もしこのような形が認められましたらですね、今日この場で認められましたならば、認証店については支給する時期がですね、期間が変わってくるということで、非常に作業が

煩雑になります。そのあたり仙台市さんにまたいろいろご相談申し上げますので、前向きに御協力いただきたいと思います。

局長さん一言お願いいたします。よろしく申し上げます。

(仙台市：木村局長)

承知いたしました。事業者の皆さんが一日でも早く協力金の支給を受けられるように仙台市としても協力してまいりたいと思います。

(副本部長：佐野副知事)

よろしいでしょうか。

(本部長：知事)

はい。仙台市さん、よろしく申し上げます。期待しております。

(副本部長：佐野副知事)

他に御質問、御意見等ございませんか。

それでは、これまでの説明について、賀来感染症対策委員長、御意見ございませんでしょうか。

(宮城県感染症対策委員会：賀来委員長)

感染症対策委員会委員長として発言をさせていただきます。

まず現在の仙台市、宮城県の感染状況ですけれども、前週比、前の週からの比較で、先週から今週にかけては約2倍になっています。実行再生数は1.53と1を確実に超えているということで、このままでは、かなり感染拡大が予想される状況にあります。また、PCRの陽性率も5%を超えています。

今回の特徴ですけれども、比較的、高齢の方は少ないんですが、20歳代から30歳代、40歳代から50歳代の方々が77%を占めています。いわゆる社会を回している方々の重症化が非常に懸念される状況になりつつあります。

また、L452R変異株が、直近のデータでは7.9%となっています。今、東京都内で見えますと、大体前週比で1.5倍ずつくらい増えてきています。ということは、来週になりますと、確実に50%を超えていくようなラインになる。さらに今後人流が抑制されませんと、さらにこの変異株の拡大が起こってくる可能性があります。

そういう意味では先ほどからお話がありますように、できるだけ早い段階で対応をとっていくということが危機管理上非常に重要なことだと思いますので、今回の時短要請について、期間のことについては先ほど私も少し意見を述べさせていただきましたけれども、今後の感染状況によってしっかりとその点も踏まえて柔軟に対応していただくということについて、このいわゆる案についてはよろしいのではないかと思います。

ただ1点、こうやってお話しする機会がありませんので、知事等もおられますので、やはり人流の抑制ということに関しては、仙台市の時短要請が大きなキーポイントになると思われまます。やはりもう一つ大きなポイントは、オリンピックの有観客の問題があります。今日はここで議論する時間はないのかもしれませんが、ここはしっかりとお考えいただき、総合的にリスクをどう抑制できるか、リスクを総合的に抑制できてこそ初めて感染対策は効果的になっていきます。

今後どのような感染状況になるか分かりません。また、この件については知事の高度な政治判断と思っておりますが、やはり専門家としては、非常に危惧しています。県民や市民をぜひ感染から守るために、これからもしっかりとお考えいただければと思っております。

(副本部長：佐野副知事)

次に、佐藤宮城県医師会長、御意見ございますでしょうか。

(宮城県医師会：佐藤会長)

先日、私も出席しました対策本部会議ではリバウンド防止期間を8月31日まで延長すること、そして仮に感染拡大が見られた場合には、より強い防止策をとるということに決めましたけれども、本日の会議はその流れに沿ったものと思っております。

ただし、今賀来先生がおっしゃったように、我々医療側はこのデルタ型の感染爆発といえますか、東京は大変なことになっておりますけど、早晚宮城県もそうなるという非常に危機感を持っております。感染爆発になる前にもっと有効な強い措置というものを取らざるを得ない、そういう時期が来ると思いますので、ぜひそういうところは間髪置かず、迅速に対応をお願いしたいというふうに思います。

(副本部長：佐野副知事)

ありがとうございました。

次に、石井調整本部副本部長、御意見ございますでしょうか。

(宮城県医療調整本部：石井副本部長)

私の方からは特にございません。

(副本部長：佐野副知事)

ありがとうございます。

次に、安藤仙台市医師会長、御意見ございますでしょうか。

(仙台市医師会：安藤会長)

ワクチンについてお話しさせてください。

ワクチン接種の加速化についてという項目がありましたが、加速化ではなくて原則化で

す。私たち仙台市医師会で、1日7万回くらいの接種能力がありますが、今後の供給計画は週最大3万7千回くらいというふうに聞いています。それでは若い世代の方々に早く接種したいというニーズに全く不十分です。国中どこもそうだとすることで、決して宮城県のせいではありません。国になぜ早く輸入できないのかとか、そういったことを厳しく追求していただいて、これはもう国全体の問題。どこの自治体も、どこの医師会も本当に打ちたいんだけど打てない。そんなことは、やっぱりいかんというふうに思いますので、ぜひ追求して、国に具体的な策をお願いしたいというふうに思います。

オリンピックに関しましても、N501Yの変異株は、静かに浸透して、あんまり大した害はなくというふうに思いますが、L452Rの変異株は、なかなか強力でございますので、静かに浸透していくというわけにはいかないというふうに思います。

ぜひ早めの対策をお考えいただければと思います。

(副本部長：佐野副知事)

保健福祉部長、今のワクチンについて、国への要望について。

(保健福祉部長)

国に対しては全国知事会でも声を大きく上げておまして、各市町村での自治体での接種計画が円滑に進むように特段の配慮を引き続きお願いしてまいりたいと考えております。

(副本部長：佐野副知事)

最後に仙台市木村局長からご発言をお願いします。

(仙台市：木村局長)

仙台市でございます。

本市ではここ数日20人から30人近い新規陽性者が出ており、本市が独自に設定しました感染拡大の早期探知の指標も全て行動の目安という段階に達している状況でございます。3月の場合では、この2、3週間後には、本市の1日当たりの新規陽性者数が100人を超える状況となっており、前回のような感染拡大を招かないためにも、このタイミングで強い措置を実施することについては、本市としても異存ございません。

今後、対策の効果が現れるまでの間、本市において感染者の更なる増加も危惧される状況であり、様々なデータや指標を注視しつつ、引き続き宮城県様としっかり連携をとらせていただき、感染状況に応じた対応体制をとりながら、感染拡大の解消に全庁を挙げて取り組んでまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。

(副本部長：佐野副知事)

ただいま皆様からご意見をいただきましたが、総体としては同意をいただきましたので、

本県における感染拡大抑制のための追加対策等については資料3及び資料4のとおり決定したいと思います。

これに御異議ありませんか。

<異議なし>

(副本部長：佐野副知事)

ありがとうございます。それでは資料3及び資料4のとおり決定をいたします。

その他皆さんから何かございますでしょうか。

<特になし>

(副本部長：佐野副知事)

本部長から何かございますか。

(本部長：知事)

どうも皆さん御苦勞様でございます。特に医療関係者の皆様本当にありがとうございます。お忙しいところ御参加いただきまして、貴重な御意見を賜りまして誠にありがとうございます。

今回は3月の教訓を生かしまして、3、4月と感染者数を見ますと、10日程早く、対策を打つことができました。本当に先生方のおかげだと思っております。ただ10日早く打ったら、それだけ大きく、早く効果が出るかということそれはまだ未知数でございますので、今後まだ感染者が増え続けるということであれば、さらに厳しい対策を考えて参りたいと思いますので、更なる御指導のほどよろしくお願い申し上げます。

本日は誠にありがとうございました。

(副本部長：佐野副知事)

それでは以上で議事を終了いたします。

(危機管理監)

以上で、第29回宮城県新型コロナウイルス感染症対策本部会議及び第26回宮城県危機管理対策本部会議を終了いたします。

ありがとうございました。